

劇団IQ150 PRESENTS

白鳥たちのメモリー

音楽と言葉のライブ

構成・演出：丹野久美子
音楽監督：只野 展也

2015

只野展也 (キーボード&ベース)

サイトウミノル (ギター)

丹野久美子 (ヴォイス&ヴォーカル)

郷家信行 (ギター)



2015年6月12日(金)・13日(土) 仙台市宮城野区文化センター・パトナシアター

ギター

郷家 信行 (ごうけ のぶゆき)

1963年生まれ

フォークから70年代のニューミュージックを体験し、シュガーベイブ・山下達郎・ムーンライダーズを経て、プロダレに走り、高校時代はハードロックバンドでROCK JAMに出演。その後ウエストコーストサウンドのサウスパーパスに18歳で加入、コンテストにあげられるが解散。Ta-Goを結成、ボーカル、ギターを担当。この時、丹野さん、只野さんと知り合い、星メロに参加、ギター、マンドリンなど担当。あー、昔は以外とアグレッシブだったなーと思う今日この頃。



ギター

サイトウミノル (さいとうみのる)

ヤマハギター科講師。もう、27年やっております…。気がつけば還暦(笑)もうちよいのちよいです。

さて、僕は言葉の本来の意味で、地球の子供、星の子供、宇宙の子供です。だいたい僕達の身体を構成している物で、我が地球に由来しない物は一つありません。「星たちのメロディー」を観に来てくださった皆さんとともに、宇宙を、星を、この地球を、そして私たち自身を感じられたら幸せです。



キーボード&ベース

只野 展也 (ただの のぶや)

1981年からスタジオ&ライブプレイヤーとして活動をはじめ。

これまでCM曲、番組音楽、イバンド音楽、劇音楽などを多数制作。スタジオワーク、ライブステージを問わず、場面場所に臨機応変する「その場で生弾き」的な即興的音作りを信条としている。趣味は源流テンカラ釣り、登山、バイクなど。



ヴォイス&ヴォーカル

丹野 久美子 (たんの くみこ)

1979年に19才で劇団I.Q150旗揚げ。以来36年間、同劇団を主宰。作家・演出家・女優・歌手として、地元仙台を拠点に活動。他にTV・ラジオのパーソナリティや、CM・番組のナレーション、アフレコ、朗読、構成作家、新聞・雑誌のコラム等の執筆、振付け等その仕事は多岐にわたる。

「只野さん、ミノルさん、郷家さんとの舞台では、生きものとしての自分を素直に感じられます。星の子どもが4人、それぞれの思いを音にします」



音楽と言葉のライブ

星たちのメロディー 2015



スタッフ

音響 緒方 晴英 (コルチバーレ)
照明 三浦 優香
題字 斉藤 文春
制作 劇団I.Q150

言葉が音になり、歌になる。

音楽は言葉になり、生命を奏でる。

「星たちのメロディー」は、1993年に福島の三春町で生まれた。三春の山奥にアトリエ『游彷徨陶房』(ゆうぼうとうぼう)を開く、星が大好きな陶芸家・日下部正和先生のために、丹野と只野がそのアトリエで行った即興演奏会(?)がその始まり。以来、演りたい時に集って演るスタイルで22年、現在も継続中。

丹野久美子の言葉と只野展也の音楽が創りだす宇宙に、サイトウミノルと郷家信行のギターが絡みあう不思議空間。

「私たちと一緒に、ひとときの宇宙旅行はいかがですか。」



6月12日(金) 開演 15:00

開演 19:00

6月13日(土) 開演 13:00

※開場は開演の30分前、ご予約チケットのお渡しと整理券の発行は開演の1時間前からとなります。

仙台市宮城野区文化センター
パトナシアター

(仙石線 陸前原ノ町駅隣)

一般 3,000円 (当日 3,500円)

学生 1,000円 (当日 1,500円)

※保護者同伴の場合、小学生以下は無料です。

ローソンチケット Lコード: 22953

チケットぴあ Pコード: 262-811

※e+ (イープラス) でも販売いたしております。

助成: 仙台市民文化事業団

ご予約・お問合せ

劇団I.Q150

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-2-1 パックス倉庫2F
TEL&FAX 022-342-0651 E-mail mail@iq150.info